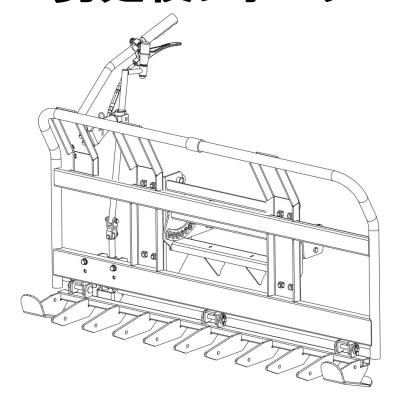
取扱説明書

乗用草刈機用 アタッチメント 剪定枝フォーク





- ●取扱説明書本文中に出てくる重要危険部分は、製品を使用する前に注意深く お読みいただき、十分理解してください。
- ●本製品ご購入の際には、販売店より安全のための使用方法についての説明を お受けください。
- ●取扱説明書はいつでもごらんになれるよう、大切に保管してください。
- ●本製品の保守には必ずメーカー純正品をご使用ください。

/// OREC

■取扱説明書について

- 本機を使用する前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 本機を貸与または譲渡される場合は、必ず本機と一緒にお渡しください。
- 紛失または破損した時は、直接販売店へご注文ください。

《はじめに》

- ✓ このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
- ✓ この取扱説明書は本製品を常に最良の状態に保ち、安全な作業をしていただく為に、正しい取扱い方法について説明しております。
- ✓ ご使用の前に必ずこの取扱説明書を良くお読みいただき、安全な運転作業と正しい取扱方法を 十分に理解し、安全で能率的な作業にお役立てください。
- ✓ また、お読みになった後はいつでも取り出してご覧になれるよう大切に保管し、本製品を未永 くご使用頂けますようご活用ください。

《定義とシンボルマークについて》

本書では、危険度の高さ(または事故の大きさ)に従って、次のような定義とシンボルマークが使用されています。以下のシンボルマークがもつ意味を十分に理解し、その内容に従ってください。

シンボルマーク	定
Δ	その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあるものを示します。ま
A 注意	た、遵守または矯正しないと、製品自体に損傷を与えるものも示します。

《重要なお知らせ》

- 1) 性能・耐久性向上及びその他仕様変更による部品等の変更で、お手元の製品仕様と本書の内容が、 一部一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 2) 本書の内容の一部、または全部を無断で複写複製(コピー)することは、法律で定められた場合を除き、著作権の侵害となりますので、予めご注意ください。
- 3) 本書では説明部位が具体的に理解できる様、写真・イラストを用いておりますが、説明部位以外は省略されて表示されている場合があります。
- 4) 本書は日本語を母国語としない方へのご使用を対象としておりません。

《保証・契約書・免責事項》

- 1) 本製品の保証期間は、新品購入から1ヶ年となっています。
- 2) 全ての注意事項を予測する事は不可能です。製品を使用する際には作業者側も安全への配慮が必要です。
- 3) 本書を読んでも判らない場合には勝手な操作はせず、必ず製品お買い上げの販売店(以降販売店) までご相談ください。

- 4) この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、**製造打ち切り後9年**と致します。但し、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等についてご相談させていただく場合もあります。
- 5) ご不明な点及びサービス等関するご質問は、販売店までご相談ください。

作業をする前に

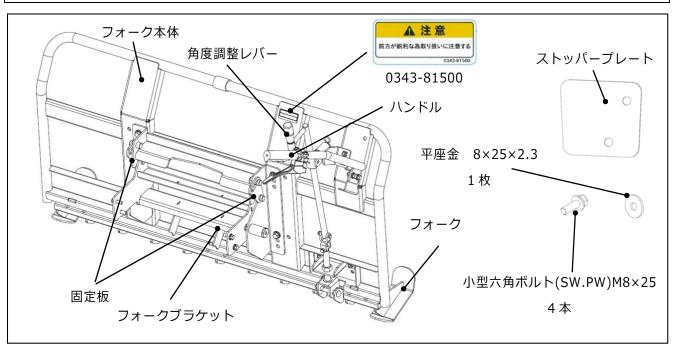


本製品は枝を収集する装置ですので、枝を収集する以外で使用しないでください。

本製品への乗車、足載せは行わないでください。

本製品を脱着させる時は、平坦な安定した場所でエンジンを停止して行ってください。

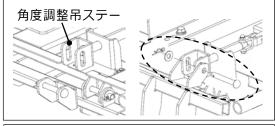
剪定枝フォークセット同梱部品



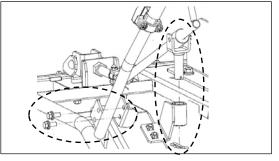
初めに上図の部品が揃っているか確認してください。

詳細部品に関してはパーツリストを参照してください。

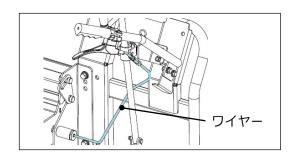
剪定枝フォーク取り付け方法



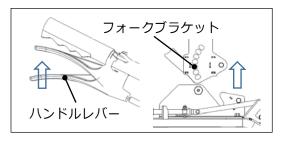
①フォークが固定されていないので、左図のようにピンで 角度調整吊ステーに固定します。



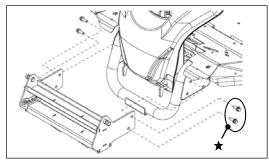
②ハンドルと角度調整レバーを固定します。 ハンドルはボルト2本で固定します。 角度調整レバーはピンで固定します。



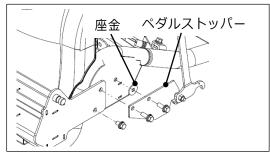
③ワイヤーの経路は右図のように角度調整レバーとフレーム本 体の間を通します。



④固定板を外し、ハンドルレバーを握り、ロックを解除した 状態でフォークブラケットを取り外します。

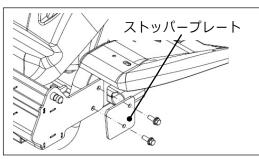


⑤フォークブラケットをフレームに取り付けます。同梱されているボルトでフレーム4箇所に固定します。※使用機種によって左図の★部分の取り付け方法に差異があります。



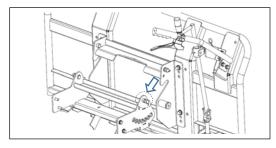
RMK150,RMK150A,RMK151

ペダルストッパーを固定していたボルトを外します。 左図のように同梱されている座金をペダルストッパーの内側 に入れ、フォークブラケットと座金を挟み込むようにペダル ストッパーを固定します。



RM981,RM981A,RM983,RM982F,RM983F

フロントバンパーを外し、大切に保管しておいてください。 左図のように同梱されているストッパープレートをフォーク ブラケットと一緒に固定します。



⑥ハンドルレバーを握り、ロックを解除した状態でフォーク 本体をフォークブラケットに取り付けます。



⑦固定板を取り付けてロックします。

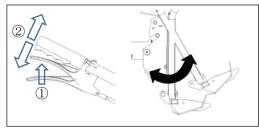
作業のしかた

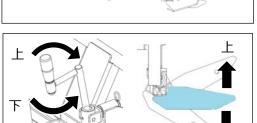
角度調整のしかた



走行中に角度調整を行わないでください。

フォーク本体の角度変更後、ロックされているか必ず確認してください。





フォーク本体の角度の変更は①ハンドルレバーを握り、ロックを解除した状態で②ハンドルを上下させます。

フォーク本体の角度は※7段階変更可能です。

(※但し、RM981,RM981A,RM983,RM982F,RM983F は5段階です。)

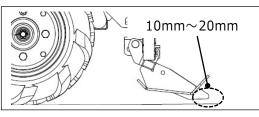
フォーク角度変更は角度調整レバーを左右に回します。 右に回すとフォークが上がり、左に回すと下がります。

作業のしかた

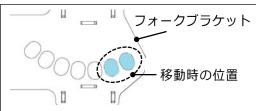


本製品は鋭利の部分がある為、周囲に注意して作業を行ってください。

作業中は安全の為、皮手袋などの丈夫な手袋や保護メガネを着用して実施してください。



地面に対して垂直になるようにフォーク本体の角度を変更し、左図のようにフォーク先端が地面から 10mm~2 0mm になるように角度調整レバーで調整します。



移動をする時は、フォーク本体の角度を右図の穴位置に 変更してから移動を行ってください。

消耗品明細

部品名	部品番号	個数	備考
ハンドル上下左右ワイヤー	0285-72110	1	
突き刺さり注意ラベル	0343-81500	1	前方が鋭利な為…

